

法律学演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302
必修 2単位

天日 隆彦

1. 授業の概要(ねらい)

歴史認識問題は今日、日本の政治外交における重要なテーマの一つとなっている。演習では、歴史をめぐって多様な見方があることを理解し、幅広い教養と倫理観を身につける。今年度は、慰安婦問題及び歴史問題全般をめぐる新聞報道に重点を置きたい。

2. 授業の到達目標

- ①歴史認識問題に関する基礎知識を修得する。
- ②歴史認識問題について、バランスのとれた判断力を修得し、自分の考えを論理的に説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加態度(発表及び討論)40%、期末レポート60%。

4. 教科書・参考文献

教科書

村山富市・和田春樹 デジタル記念館「慰安婦問題とアジア女性基金」
(<http://www.awf.or.jp>) 青灯社

デジタル記念館は、ネットで閲覧可能な為、購入の必要なし。その他、必要に応じプリント配布する。

参考文献

『「歴史認識」とは何か』 大沼保昭著、聞き手・江川紹子 中央公論新社

5. 準備学修の内容

各回の報告者は、パワーポイントを準備してプレゼンテーションする。担当者以外の学生は、指定の資料の該当箇所を読み、問題意識をもって授業に参加すること。
日頃から、歴史認識問題に関する新聞記事に目を通しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

授業中の私語など迷惑になる行為は厳禁する。

7. 授業内容

- 【第1回】 演習全体の見取り図、成績評価の方法の説明、発表者の割り当てなど
- 【第2回】 歴史認識問題全般について学ぶ
講義、討論
- 【第3回】 歴史認識問題全般について学ぶ
講義、討論
- 【第4回】 Webテキストから学ぶ(1)台湾における償い事業
発表、討論
- 【第5回】 新聞報道を素材に学ぶ(1)
発表、討論
- 【第6回】 Webテキストから学ぶ(2)オランダにおける償い事業
発表、討論
- 【第7回】 新聞報道を素材に学ぶ(2)
発表、討論
- 【第8回】 Webテキストから学ぶ(3)インドネシアにおける償い事業
発表、討論
- 【第9回】 新聞報道を素材に学ぶ(3)
発表、討論
- 【第10回】 Webテキストから学ぶ(4)被害者の声
発表、討論
- 【第11回】 新聞報道を素材に学ぶ(4)
発表、討論
- 【第12回】 Webテキストから学ぶ(5)国内外の論議
発表、討論
- 【第13回】 新聞報道を素材に学ぶ(5)
発表、討論
- 【第14回】 全体のまとめ(1)(オンライン)
LMSによる設問、知識の整理
- 【第15回】 全体のまとめ(2)
講義、討論